

## 令和6年度京都市下京区民まちづくり会議 議事録（全文）

日 時：令和6年3月19日（水） 15：00～15：55

場 所：下京区役所 4階 会議室

出席者：出席者44名

次 第：1 開会

2 挨拶（下京区長）

3 議題

（1）第3期下京区基本計画 令和6年度の取組状況について

（2）令和7年度 下京区持続可能なまちづくり支援事業（予算案）について

（3）各区・支所まちづくり運営方針（仮称）の策定について

傍聴者：なし

### 1 開会

#### 事務局

- ・本会議は区民と行政が協働で取り組む「下京区基本計画」の策定・推進に向けて御意見をいただくことを目的に開催する。
- ・また、本会議は「京都市市民参加推進条例」第7条に基づき、公開で実施する。

### 2 挨拶

#### 区長

- ・本日は年度末のお忙しい中お越しいただきありがとうございます。
- ・日頃より、下京区政の推進に御理解、御協力をいただき、感謝申し上げます。
- ・第3期下京区基本計画は、今年度で策定から4年目。6つの重点戦略に掲げる14のリーディングプロジェクトのほとんどが実施済み。また、取組例を90以上掲げているが、その7割は実施済み又は実施中である。
- ・私が下京区長に就任してから約1年が経過した。この間、夏祭りや体育祭、敬老事業等、各学区の様々な取組に参加させていただき、非常に貴重な時間を過ごすことができた。
- ・その際に感じたのは、地域の皆様の「地域に対する熱い思い」。夏祭りでは、暑い中皆様が率先して準備を進めておられ、感銘を受けた。
- ・こうした地域の皆様による取組だけでなく、下京区内には京都市立芸術大学や様々な事業所がある点を生かした、学生や若手社会人の方々による取組も多く見られることが下京区の特徴である。
- ・例えば、現在開催中の「下京・南まちなかアート」では、下京区内の元小学校等の校歌を編曲し、京都市立芸術大学音楽学部在学学生による弦楽四重奏による演奏を行った。昔を懐かしみ、地域に愛着を持つ機会の創出ができたと考えている。

- ・また、学生等による「商店街の魅力発見を目指した取組」や「地域のお祭りへのヒアリングを通した、若い世代の関わり方の検討」等が進められた。地域との交流が広がることを期待している。
- ・本日御出席いただいている皆様、地域で御活躍いただいている全ての方に、御礼申し上げます。
- ・また、来年度からは、区役所の関係部署が垣根を越えて一体的に地域振興に取り組む「区 Hub」というチームを、区役所ごとに立ち上げる予定である。今後、その在り方については検討を進めていくが、区役所内の部署間の連携を強化し、地域の皆様との関わりをより強めてまいりたい。
- ・第3期下京区基本計画の終期を迎える今年12月まで、委員の皆様や区民、団体、事業者の皆様とともに、「自分ごと、みんなごとのまちづくり」を進めてまいり。引き続き、御支援・御協力のほどお願い申し上げます。
- ・本日の会議がより実り多いものとなるよう、積極的な御参画をお願い申し上げて、挨拶とさせていただきます。

#### ○事務局

- ・以後、「京都市下京区民まちづくり会議開催要綱」に基づき、会長に議事進行をお願いする。

### 3 議題

#### ○会長

- ・今年度も、様々な工夫をされながら、皆さん地域活動に御尽力いただいたことと思う。
- ・本日は、皆さんとともに推進する第3期下京区基本計画の取組状況などを報告いただく場となる。
- ・議題1「第3期下京区基本計画 令和6年度の取組状況について」事務局から説明をお願いしたい。

－事務局より資料3について説明－

#### ○会長

- ・説明を踏まえて、御質問、御意見はあるか。
- －質疑なし－

#### ○会長

- ・議題2「令和7年度 下京区持続可能なまちづくり支援事業（予算案）について」事務局から説明をお願いしたい。

－事務局より資料4について説明－

○会長

- ・説明を踏まえて、御質問、御意見はあるか。

○委員

- ・「5 地域コミュニティ活性化事業」については、自治会活動にやる気のある方に向けた取組のように見受けられるので、自治会に加入しない方に地域事業に参加いただけるよう促す取組を加えると良いと思う。

○事務局

- ・自治会・町内会加入促進の取組を支援するメニューもあり、活用されている地域もある。

○委員

- ・「2 世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進事業」に関連して、お伝えさせていただく。
- ・下京区内には、ホテルや民泊が多く所在しており、海外旅行者の中には長期にわたり滞在する方もいる。
- ・最近、時間規制のかかる道路での「白タク」の停車が目立っている。
- ・警察とも連携しながら、こうした対応への取組も検討いただきたい。例えば、中京区では停車中の「白タク」を写真に撮っているとも聞いている。下京区内には京都駅前もあるので、重点的に取り組んでいただきたい。

○事務局

- ・道路運送法を所管する機関とも状況を共有し、何かできないことがないか検討してまいりたい。

○会長

- ・議題3「各区・支所まちづくり運営方針（仮称）の策定について」事務局から説明をお願いしたい。

－事務局より資料5について説明－

○会長

- ・説明を踏まえて、御質問、御意見はあるか。

－質疑なし－

#### ○会長

- ・それでは、下京区民まちづくり会議 顧問から、全体についてコメントをお願いしたい。

#### ○顧問

- ・令和6年度の「下京区持続可能なまちづくり支援事業」で取り組む各事業の予算額は、それぞれ大きいものではない。
- ・しかしながら、第3期下京区基本計画の令和6年度の実施状況の報告をお聞きして、大きな成果が出ていると感じた。これは、下京区民の皆様のお力によるものと認識している。
- ・行政の力だけでなく、地域の方々も一緒になって大きな成果を出していることが、下京区の特徴である。
- ・一方で、新しい課題も次々と生じてくるが、そうした課題に対して、行政と地域の方々、事業者の方々等が一緒になって、解決を目指していることが印象的であった。下京区民まちづくり会議は、新しい課題を行政と地域で解決していく貴重な場である。
- ・本日の実施状況の報告資料は、厚みのあるものである。今後、「各区・支所まちづくり運営方針（仮称）」の様式がA3の一枚となっても、報告資料が薄いものとならず、今年度と同様、大事な取組は共有できるよう期待したい。

#### ○会長

- ・本日、予定されていた議題については以上である。会議全体の総括的な御意見・御質問はあるか。

#### ○委員

- ・現在団塊の世代の方々は、3年後には多くが80代になる。また、地域においても様々な課題が生じる。
- ・本日、「各区・支所まちづくり運営方針（仮称）」の説明があったが、どのような施策ができるのか今からでも考えだす方が良く、私自身は考えている。

#### ○事務局

- ・これまで地域を支えてこられた団塊の世代の方々が高齢となるため、次世代の地域の担い手育成が重要であると認識している。
- ・これからの京都市をどうしていくか、今の状況も踏まえて検討していきたい。
- ・「各区・支所まちづくり運営方針（仮称）」は、長期的な目線も持ちながら短期的な

方向性をどのようにするのか、下京区民まちづくり会議等でも議論しながら検討を進めてまいりたい。

**○会長**

- ・ 以上で閉会とさせていただく。進行への御協力に感謝する。

**○事務局**

- ・ 計画の終期までわずかであるが、来年度も引き続き、計画の推進に御協力いただくようお願いしたい。
- ・ 次回の下京区民まちづくり会議は、秋頃を予定している。

以上